

滝田医院ニュース 第46号

〒022-0001 大船渡市末崎町字平林75-1 滝田医院 電話0192-29-3108

内科(循環器、呼吸器、消化器)

院長 滝田有(たきた たもつ):医学博士・日本内科学会認定総合内科専門医・日本循環器学会認定循環器専門医

要注意

定期の方はなるべく予約を！

●当院は「予約優先制」です。定期受診の方は待ち時間が少なくなります。もちろん急病の方は予約なしで受診できます。当日の予約は出来ません。

6月の臨時休診のお知らせ:6月18日(土)は休診です。定期受診の方は予約を取ることをお勧めします。

おかげさまで開業満13年 来し方・行く末

平成15年4月1日 細浦の地に新生・滝田医院が開業しました。平成20年には院長がクモ膜下出血で倒れ、約6か月間の東北大学院生医師による応援診療(代診)。平成23年3月には東日本大震災大津波に遭い診療休止となりましたが、翌4月からはふるさとセンターを間借りし仮設診療所で診療再開しました。このように13年間で2回瀕死の状況に陥ったにも拘らず、現在もプレハブながら診療所を維持し日常診療を続けています。

これもひとえに患者さん並びに地域住民の方々のご支援ご指導によるものと強く感謝しております。

今後も自身と家族の健康の許す限り皆様方のために診療を続けて参りたいと思います。なお一層のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

また皆様に対してはご迷惑を引き続きお掛けするという意味で、非常に心苦しい事ではありますが、気仙医師会長も続投することとなりました。それに伴い未来かなえ

機構の代表理事も併任となります。したがって従来に引き続き、日常診療の業務以外の用事も山積し多忙な状況となっております。

皆様方には予約優先制への更なるご協力をお願いいたします。

未来かなえネットも4月1日から稼働を始めました。現在は気仙全体で4,300人を超す登録を頂き、他の地区からは驚異的数字と誉められています。ただ我々の目指す目標は遠い先にあります。

安心で安全な気仙を作るための医療者介護者行政が一体となって作り上げた仕組みです。(5月24日のNHKテレビ「おはよう日本」でも全国に紹介されました)未加入の方は是非加入を勧めます。順次各公民館でも住民の皆様方への説明会を開いていきます。

当院も今年度中によりやく仮設診療所を卒業し、現在地で増築をしてスペースを広げる予定でおります。(場所は当面変わりません)

第80回日本循環器学会でパネル展示

去る3月には臨時休診を数日設けてしまい皆様には大変ご迷惑をかけました。

実は3月18日から3日間の日程で仙台市の国際センターにおいて開催された第80回日本循環器学会学術集会において「東日本大震災復興 5周年企画展示」として滝田医院の復興と社会への恩返しとしての「未来かなえ」の活動をパネルで示してきました。初日には天皇皇后両陛下に、このパネルもご覧いただきました。また未来かなえ機構に関する同窓会誌(滝田著)と雑誌「時評」に掲載した未来かなえに関する滝田と県病伊藤院長、典人会内出氏との鼎談を夫々100部用意しましたが初日中に無くなりました。この学会は全国の循環器医が集うもので、延べ参加人数は2万人に達します。

目次:

開業13年のご挨拶 1



循環器学会パネル展示 2

予約優先制2題 2

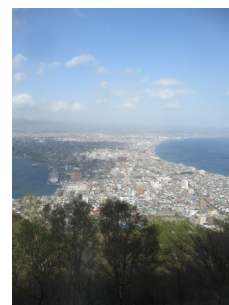
滝田の「遺言」 2

●<http://takita.webmipr.jp/>

「予約」以外の患者さんもどうぞ。

滝田医院が「予約」制であることは皆さん大分わかっていただくようになりました。正確に言えば、あくまで「予約優先制」なのです。基本的に日本の医者は患者さんに希望された時は診察をしなければなりません。もちろん滝田医院も予約していない患者さんも診察します。よく電話をかけてから来院される患者さんがいますが、**来院前の電話は不要**です。また**当日の予約**

は出来ません。来院された場合は予約患者さんが多ければお待たせすることになったり順番が後になります。予約患者さんが集中するのは午前も午後も早い時間帯(9時～10時、14時～15時)となります。予約をお勧めしているのは、糖尿病や高血圧など、継続して治療が必要な患者さんです。種々の検査も時間制限があったり、本業以外にも医師会や未来かなえの業務などもありますので臨時休診も他の医院に比べて大分多くなってしまっているからです。



はるばる来たぜ函館

「予約優先制」の良い点

予約優先制は平成20年6月に私がクモ膜下出血を克服し復職した時点から始めましたので早8年となります。当初は私自身のために始めたものですが、特に平成23年10月からの仮設診療所開設以来数々の良い点も見られるようになりました。これをなくして普通の内科診療所と同じにした方が「患者さんのためには良い」し、「医者の方も儲かる」だろうと言ってくれる方もいます。それでも私は変える気はありません。なぜでしょう？それには数々の理由があるのです。まず第一に患者さんの待ち時間が少なくなります。これは間違い

ありません。どんなに混んでいても原則90分以上はお待たせしません。診療所はどこでも基本的に菌が集まるところ、汚いところです。余計な病気を持って帰らないように滞在時間は極力短くすべきです。

第二に数多い臨時休診にも対応できる点です。休診日にはもちろん予約は入れませんし、急遽休診となった場合でも予約患者さんには連絡を入れます。

第三に職員の負担軽減です。ご存知のように大津波後は看護師さんが一人で、検査をはじめ医療補助を行っているからです。



高台から見た細浦港

滝田の「遺言」

気仙管内でお医者さんが少なくなっています。国保綾里、吉浜診療所、上代医院、松原クリニック訪問診療部です。このうち訪問診療に関しては代わりの先生が引き継ぎますが、他の診療所は医師会や行政が一体となって何とか後継者を確保するように尽力しています。

一方末崎町はどうでしょう？今年2月のデジタル公民館の講演のオフレコ部分で私は「あと15年」と言った

記憶があります。ただそれもあくまで私や家族が健康でいる限りなのです。皆様ご存知の通り病気持ちです。ですのでいつ何時倒れるかもしれません。医師会の仕事も会長に3選されますます大変です。

今まで何度か書いていることですが、後継者も居りませんので、昭和の初めから皆様のお世話になった「滝田医院」も私限りとなります。

皆さま お含みおきください。

